

令和6年度 介護労働懇談会の開催 東京支部

開催日時: 2月 7日(金曜日) 13:30 ~ 16:00

テーマ・議題

介護テクノロジーの現状とこれから
～介護テクノロジー導入による
生産性向上について～

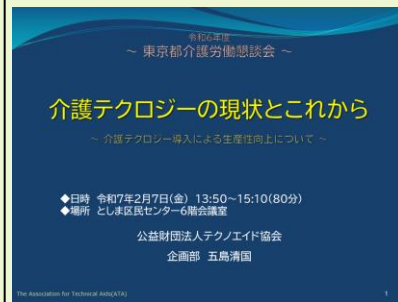
主な参加機関

東京労働局、飯田橋公共職業安定所、池袋公共職業安定所、
東京都医師会、東京都福祉保健財団、東京都老人保健施設
協会、日本介護クラフトユニオン、東京しごと財団、大田区他
地方自治体、他

次第	
13:00	開場 受付開始
13:30	開会 介護労働安定センター東京支部長 我妻 明
13:35	あいさつ 介護労働安定センター 理事長 藤澤 勝博
13:50	講話 公益財団法人テクノロイ協会 企画部長 五島 満国 様
15:10	質疑応答
15:20	休憩 休憩・名刺交換
15:40	情報共有 公益財団法人東京しごと財団 人材戦略担当課長 可児 肇 様
16:00	閉会

テクノロイ協会
五島氏 説明資料

東京しごと財団 説明資料



主な内容

1. 少子高齢化の現状、今後の動向
 - ・認知高齢者の増加
 - ・高齢者世帯や高齢者の独居が増加
 - ・ADL(日常生活動作)やQOL(生活の質)の維持・向上
 - ・楽しく・働きやすい、職場・労働環境の構築
 - ・福祉用具・介護テクノロジーの活用を促す教育
 - ・他の分野で利用されている「技術」や「ノウハウ」の活用
2. 介護テクノロジーを活用した生産性の向上
 - ・職員の業務負担の軽減を図る
 - ・介護サービスの質の向上
 - ・人材の定着・確保
 - ・介護の価値を高める
 - ・働く人のモチベーションの向上、楽しい職場・働きやすい職場づくり
 - ・業務改善を実現するインフラ・ツールとして、福祉用具・介護テクノロジー、ICT等を活用
3. 介護テクノロジーの導入と利活用のポイント
 - ・利用目的の明確化(人・場面・目的)
 - ・身体状況(ADL等)の変化を把握
 - ・経営者(役員)、管理者(施設長)、現場(フロアリーダー)それぞれの観点で利用判断
 - ・効果的に活用するためのアクションプラン
4. 介護テクノロジー等の安全利用と腰痛予防対策
 - ・福祉用具に係わる重大製品事故情報(消費者庁)
 - ・事故情報収集結果及び最新事故情報のうち介護機器に該当するもの(NITE)
 - ・保険者からの情報提供(任意)
 - ・重大事故やヒヤリハットを未然に防ぐ取り組み
 - ・腰痛予防対策チェックリストを活用した介護テクノロジー選び

参加団体からのお知らせ・状況報告等

- ① 東京しごと財団による、令和7年度スキルアップ支援事業の説明
 - ・4つの助成金(事業内スキルアップ助成金、事業外スキルアップ助成金、DXリスクキリング助成金、育業中スキルアップ助成金)に関して
 - ・当センターを利用した研修などは、条件が適合すれば、事業外スキルアップ助成金に該当するなど、活用の促進が参加者に伝えられた
- ② 上記スキルアップ支援事業について、助成対象事業者の枠が拡大したことにより、当日参加された各法人様より様々な意見や質問が交わされた

事務局(介護労働安定センター 東京支部)からコメント

各種講習のお問い合わせやご相談がございましたら、TEL:03-5972-1410までお願いいたします。